

認知症
三条市民フォーラム

国際RC第2560地区
三条ロータリークラブ社会奉仕プロジェクト

その時、あなたや家族は どう向き合いますか？

認知症は2025年には高齢者の5人に1人が発症する恐れがあるとされており、
今や他人ごとではなく社会的にも大きな問題となりつつあります。
新潟県内のロータリークラブでは昨年度より認知症の理解を深める活動を行ってきました。
今回の市民フォーラムでは家族の対応や行政支援について、
また認知症の現状および予防と対策・治療やリハビリ現場の状況などを講演いただき、
市民の皆さまが認知症に対しどのように向き合っているのか考えるきっかけになれば幸いです。

2019

12.7 [土] 9:30~11:45 **〈参加費無料〉**
先着200名

会場 **ジオ・ワールド ビップ** 新潟県三条市旭町2-8-57
TEL. 0256-35-1143

第1部
9:40~10:30

講演「認知症の症状と共に、
日常を過ごすということ(50分)」

講師 弥久保 忠男氏

第2部
10:40~11:30

講演「認知症の予防と共生できる
まちづくり(50分)」

講師 児玉 直樹氏

終了後質疑応答

11:45

終了

●講師プロフィール

弥久保 忠男氏

はあとふるあたご事業企画本部
地域密着型サービス推進室 室長

コメント

自分たちに認知症の症状が出てきた時、どのようなことが自分や家族に起こるのか。その時に何が必要で、どこに相談することができるのかを紹介しします。

児玉 直樹氏

新潟医療福祉大学 医療技術学部
診療放射線学科 教授

コメント

認知症の正しい理解、認知症予防の取り組みやエビデンスなどを紹介し、人々が相互に信頼し、尊重し、助け合うためのヒントについても紹介しします。

●会場案内図

